登録番	号	プロトコール名							
C34-1	59		 肺癌(非小細	胞)BEV+Atezo(
診療科		呼吸器内科	1クールの日数		日数	21 目			
審査		2019年1月28日	所要時間	160分	適応外侵		■なし □あり		
適応病	i名	 非扁平上皮肺癌			放射線頻		■なし □あり		
実施部	署	■外来、■病棟、□その化	<u>ħ</u> ()					
適応分	類	□初発、■進行・再発、□			の他(()			
番号		抗がん薬名		1日投与量	己	投与法	投与日(d1、d8等)		
1	フ	アテゾリズマブ (テセントリク)	·ATEZO	1200mg		div	d1		
2		ベバシズマブ (アバスチン	·) •BEV	15mg/kg		div	d1		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
エビデンレベル		■治療(エビデンスレベ)	ν □1 ■ 2	2 🗆 3 🗆 4	□5 □6)				
ガイドラ							ngl J Med. 2018		
その他 (減量・増 規定、ブ コールに する補足 明など)	プロト 肺癌(非小細胞) CBDCA+PAC+BEV+Atezo併用療法の維持療法 工関								
プロトコールに関する解説									

PS 0-1のドライバー陰性IV期未治療非扁平非小細胞肺癌に対し、免疫チェックポイント阻害剤であるアテゾリズマブの上乗せ効果を検討したIMpower150試験において、CBDCA+PAC+BEV+アテゾリズマブ群はCBDCA+PTX+BEV群に比較してPFS(8.3ヵ月 vs 6.8ヵ月, ハザード比0.62)、OS(19.2ヵ月 vs 14.7ヵ月, ハザード比0.78)と良好な結果を示した。毒性はアテゾリズマブ併用群で食欲低下、末梢神経障害、吐気、倦怠感、皮疹、肝機能障害、甲状腺障害、肺臓炎、大腸炎のマネジメントが必要である。

がん化学療法処方

	1クールの日数		
	肺癌(非小細胞)BEV+Atezo併用療法		
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	 生理食塩水 50mL+プライミング用) 生理食塩水 250mL+プセントリク 1200mg 問題なければ2回目以降は30分に短縮可 0.2又は0.22 μ mインラインフィルター使用 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) 生理食塩水 100mL+アバスデン 15mg/kg 初回90分、2回目以降は問題なければ60分、さらに問題なければ30分に短縮で生理食塩水 50mL(フラッシュ用) 	点点 点点 滴滴 静静	
プロトコール 適応時 表示コメント	肺癌(非小細胞)CBDCA+PAC+BEV+Atezo併用療法の維持療法		
照射併用時 照射線量	グレイ(備考欄:)